

6 センターサイディングの重ね張り工法

6-1 重ね張り工法の標準施工法

3) 胴縁と留付ビスについて

- 既存壁がモルタルの場合、胴縁材は18mm以上とし、ベイツガ材やスギ材などの乾燥材を使用します。留め付けには専用ビス(JKV1000: $\phi 4.8\text{mm} \times 90\text{mm}$)を用い、500mm以下の間隔で柱・間柱などの躯体へ留め付けます。専用ビスは基本的に振動ドリルで施工します。既存モルタルの状況により施工できない場合は、モルタル壁に $\phi 3.5\text{mm}$ 以下の先孔をあけて施工します。
- 既存壁が窯業系サイディングの場合、胴縁材の厚みは樹種に応じて15mm以上でも使用可能です。

| | |
|--------------|-----------|
| 厚み18mm以上で使用可 | スギ・エゾマツ |
| 厚み15mm以上で使用可 | ベイツガ・アカマツ |

他の材質については、スギ18mm厚、ベイツガ15mm厚同等の保持力を確保した材とします。また、端部割れなどが生じやすい材は使用できません。胴縁材の留め付けビスはコーススレッドを使用します。サイズおよび留め付けピッチは下図を参照してください。

| 既存モルタル壁 | 既存窯業系サイディング壁釘打ち施工 |
|---------|-------------------|
| | |

| 既存窯業系サイディング金具施工 | |
|-----------------|--------------------|
| モエンエクセラード | モエンエクセラード以外(他社品含む) |
| <p>躯体(柱・間柱)</p> | |
| <p>サイディングのみ</p> | |

注意 胴縁を施工する際は、コーススレッドの締め付けすぎにご注意ください。また、水系や水平器などで水平・垂直・不陸を確認しながら胴縁を施工してください。